

い草の畳表と化学表 素材別特徴

項目	熊本産い草	化学表
空気浄化	い草には、シックハウスの原因となるVOC（揮発性有機化合物）類や大気汚染の原因となる二酸化窒素を吸着し、空気を浄化する効果があります。	
湿度調整	湿度が多い時は吸い取り、少ない時は放出し、健康的な空間づくりに役立ちます。	
抗菌効果	水虫の原因となる白癬菌や臭いの原因となるブドウ球菌に抗菌効果があります。	
芳香性（香り）	い草のやさしい香りが心癒してくれます。自然のアロマテラピー効果があります。	
耐久性 （品質保持力）	<p>品質は高級品から下級品まであり、ランクに応じて耐久性は変わります。写真の高級品は10年以上経過し、一般家庭の座敷に使われていますが皮向けもほぼありません。「青味がなくなる事（葉緑素が分解する事）」＝「品質の劣化」と思われがちですが、退色と畳表の品質はほとんど関係がありません。材木に例えると、生木の色より、寝かした材木の色の状態が品質が劣るといふ事はないようなものです。品質の良い材木で建てたお寺が数百年も持つように、品質の良い、い草は長い期間品質を保持しますが、下級品は早めに品質は劣化し表皮が剥けるなどの現象があります。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div>	<p>一般的な工業製品は、納品された時が最高の状態で、時間の経過と共に劣化します。天然素材の下級品に見られる皮向けなどは見られません。</p> <p>（空気浄化、湿度調整、抗菌効果、芳香性などの特性は天然い草の特性ですので、ここでは品質保持力として比較の対象ではありません。）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div>
汚れ・キズ	無着色である天然の素材には、汚れが付着しにくく高級品は長期間に渡って目立ちにくい。一方で、水などをこぼすと、その部分はシミとなります。こぼしたら直ちに拭き取る事が大切です。	最初は樹脂・撥水加工が効いています。
カビ	カビは、1.栄養 2.温度 3.湿度の3つの要素で発生します。葉緑素が多い青味があるうちは素材が持つ栄養が多く、特に敷き込んだ1年目は高气密な部屋ほどカビが発生する傾向です。一方で、換気された健康的な空間であれば、カビは発生しにくく、この点では室内環境のバロメーターともなります。	カビ発生の1.栄養 2.温度 3.湿度の3要素のうち、「栄養」がなく、3つの要素が揃わないため、素材そのものには発生しにくいと言えます。
色・柄	草色のみですが、自然の風合いが楽しめます。肌色は人が落ち着く色とも言われ、高級品ほど使うほどにツヤがでて飴色に変わっていき、この変化を楽しむ事ができます。	バリエーションが多く、好みの色が選べるところが、この商品の最大の特徴といえます。
夏場の素材のベタつき感	夏場に裸でゴロンと寝ても汗を良く吸って、ベタつき感はなく気持ちよい。	
冬場の素材の冷たさ	断熱性に優れ暖かく感じます。	
価格	高級品から下級品まで、幅広い価格帯から選択できます。	天然い草の中級品から高級品の価格帯

※空欄は畳店様でそれぞれにコメントをお願いします。